

# なみりまの語

## 1

### ① ステッカー

## 1

私の店だって百年

② シールで天皇制をシールドしよう、という共同行動に参加します。

その時点において、もっとも効果的に出来得る限りの、自己の力量に依じた攻撃を加える事が必要であり、手をこまねいている訳にはいかないと思います。

ウリの最も落ちたメンバー（私の事です）でも、天皇が現在の日帝の思想的中核である事を思えば、例え、それが単なるイヤガラセであっても、敵のいやがる事は、私達にと

ってはいい事だ。ドンドンやりましよう。フアシストを木綿針でつつき

ましよう。五十年記念などクソ食ら

え。私の店だって創業百年だと、

声を小さく叫びたい。とにかく賛成

夜陰にまぎれて、シールを貼ろう。

（東京・N）

△こわい▽けど△うごく▽

僕は「さかさのイシ」の集会等で「天皇制なんてピンとこないなあ」

と発言した訳ですが、自分のから

だを動かさずに、ただ仲間うちだけ

でしゃべっていた為に、はっきりと

天皇制の本質——暴力▽が見えてこ

なかったのだと思います。△天皇制

うこいてみるとよく判る▽という言葉が今はスウート頭の中に、恐れとともにはいってきます。

宋さんが「今はふらふらしている

人をふるいにかけているのだ」と言

っていました。つまり、私たちに恐

怖感を与えて、運動をやめさせる、

自分で自分の行動を心を束縛してい

く方向にもっていくという訳です。

サルートンへの家宅捜査の目的の一

つにも、恐怖感を植えつけるとい

ことがあるように思います。僕は、

はっきり言ってステッカーを貼って

逮捕されるのもイヤだし、家宅捜査

なんて、なおさらイヤです。こわい

です。（といっても、権力の側はや

りたい時にやるだろうと思います）

これでなにもやらなければ、自己束

縛、まさに権力の側の意図する方向

に持っていかれてしまうので、自分でできること、**(天)**ステッカーを貼って歩く(このことすら、私にはとても勇気がいることですが)こと、またちがったことを考えだして、(権力の側よりも私たちがすぐれていることは創造力だけですから)からだをうごかさなくてはと思っ

ていたからであり、当面保身の要があったからです。その点、うちの連れ合いは、割合に太度胸で、あちこち「用足し」をしながら貼りまくっていました。

ステッカー等なら、もし貼っているところを見とがまれても(ポリではない普通の市民に)こちらはステッカーの内容の正当性を堂々と主張出来るだろうし、その事によって(余程おかしい奴でない限り)相手は、それ以上の事はしないだろうという感じがあります。つまりポリ公以外の住民に対しては、それ程気を使わなくてよかったです。ところが、今回感じた事は、天皇制をオチヨク

## 気分的にイヤ

①気分的に違った。誠に気分的に嫌でありました。実を言えば、**(天)**ステッカーをもらうまで、意識的にさけていたわけがあります。「これはやばい後のお返しがきつそうだ」とわかっ

貼り場所を求めて、あちこちウロウロしている時に、これは普通のステッカーとは感じが違うと思ったのです。これは勿論、自分の意識の内

部だけの変化ですが、つまり、反戦つまりは、肉体的暴力に対する恐怖

## 不気味な住民

②「あっ、やっぱり」―「どないしたやろ」―「えらいがんばつとるな」(そして笑えませぬ)

③対策とってなかった。何らする必要がなかった。

④僕の弱さについて。

―N

―K

今回感じた事は、天皇制をオチヨクするステッカーの内容によって、普通の住民も、どの様な態度に出るか分からないという不気味さを感じたのです。

これは勿論、私の心の中の変化なのですが、私にとっての天皇制とはこのようなものなのだと思います。つまりは、肉体的暴力に対する恐怖

か。

(東京・T)

### 良いキツ竹葉

①単細胞というか、軽薄といおうか、あまり変りない気持で、ドキドキしながら貼っていました。

②最初はもうびっくり／＼中頃はますます貴重になったステッカー。十日までに全部貼りたいけど大丈夫かな、という気持。

③連絡が入ったその日に部屋にある資料等と住所録を他に移し、それからガサ入れをされた時の心得を確認。

④この事件があったことで、むしろ私ははっきりと問題を見ることが出来たと思っています。のほほんとしている私には良いキツ竹葉でした。

単におもしろがってステッカーをちよっぴりスリルを味いながらはるという丈でなく、そのスリルという重さは何なのか問いかえされた感じでした。

(東京・S)

二日たらずの間にみんな：

東京方面にも相当数貼られたはずなのですが、ニュースとしてマスコミにとりあげられませんでした。模索会では公然と売られていたのです  
がガサはありません。

ぼくが手に入れたステッカーは、その殆んどが貼られてから二日足らずの間にはがされてしまっていました。はがされた箇所は二たび三たびと貼って、なおいたちごっここのようにはがされるに及んで、天皇制の執

ヨウさを改めて認識しています。

大阪とちがって官憲がこれをはがしているとは思えないふしが、その場所がらから推察できます。この傾向は(官憲によると民間によるとを問わず)東京方面では顕著です。おそらく〇〇人を下らぬ仲間が、盛り場―新宿・池袋・渋谷などに貼ったと思われるのに、自分の貼ったものも含めて、貼られているのを目撃できなかったというのがその根拠です。

仲間が、新宿小田急デパートの屋上から、反天皇制―式典反対のピラ報道されなかつた。総じて、大衆レベルの反天皇制の行動は、意識的に陰ベイされたということがいえると思います。官憲だけがこの動きをト

「タルに把握している」ということが同時にいえるわけで、その総括が今後どのような形でなされていくか注目せざるを得ません。(東京・Y)

### 組織的なものの意図が

〇〇では、十一月四日の夜に友人と二人で四十八枚、市内の中心部に

貼りました。十五分位で終了しました。枚数を倍にすべきだったと、友人と二人で残念に思っています。わずかな枚数のステッカーも、翌朝には半分以上が破られたり、ぬりつぶされたりして、その反響にいささか驚きました。特に、一番最後まで破られないだろうと思っていた歩道橋のがすべて破られていて、天皇を批判しては困る連中の姿が、実感とし

て目の前にあらわれてきたという感じですが。その破り方が徹底的なのでまったく何かの汚れのあととしかみえないのです。何か組織的なものの意図的な行動ではなかったかと思っています。面白いことに、中心街のビルの柱に貼った「この顔……」のステッカーが三日間程そのままになっていました。

このステッカー貼りによって、僕自身、何をやり、何を考えたかということはわからないし、また、以前とそれほど変わったとは思っていません。が、今まで漠然と考えていた天皇及び天皇制が、自分の行為の代償として、わずかながら具体化されてきたということはいえると思えます。

〇〇での「天皇」に関する行動は

別に目立ったものではなく、右翼系の集会、デモのほか、大学の構内で、学生が反対集会(五十人位)を開いたという程度でした。(九州・H)

### 二日はもたない

①とにかく三日はもたない、という感じでした。これは単に、官憲がハガスということより、むしろ、町の人々がはがしたという気持ちがあります。僕自身、今までに数十種類のステッカーをはってきた経験がありますが、今度のようなことは初めてでした。今回のステッカーに対して、いかに「彼等」が恐れたかを見るにつけ、逆にそれだからこそ続けてやろうという気持ちがあります。

②やっぱりと思ったが、僕は事情

聴取位は免れないと思ってきました。

それだけに家宅捜査は、そこまでやるとはという気持ちにはもめました。

ステッカーの一部にあきらかに、

筆跡がわかるものがある。○さんが僕以上に、天皇制のもつ力を知っているだろうから、このステッカーを貼ることによって、事情聴取をうけるだろう、という覚悟はしているものと思いました。が、あの手書きは今も賛成しかねます。

③ガサのことを聞いて、ステッカーを、もう貼らないと電話して来た人がいた。大切なものをその日のうちに引越しました。友人二人に電話して、状況を説明しました。

二日程して、また貼り始めたが、夜ねる時は、室にカギをかけ、カメラにフィルムを入れ、テープに空テ

ープを入れ準備しました。

④家宅捜査に対して、断固たる反撃をして下さい。必要な金は貯金をはたいても工面します。(東京・N)

正直いって、これほどに

①ステッカーを貼る時は、何か極めて感情的な気持ち、まさに怨・恨といった類の怒りの感情が満ちていました。単に機械的に貼ってゆくというのではなく。

②ガサ入れのことを読んで、一瞬まさかと思いました。それから、自分の処にも来るかな、来たらどうしよう。大阪から速いしということでは救済センターの電話番号をおぼえて常に冷静でいようなどと考えました。今は来たら来たで、それを幸いに僕一人でも闘おうと思う。このよう

に保守的なところでは、そんな機会をうまく利用しない限り、なかなか大衆に訴えることはできないように思うので。

④正直に言って、天皇―天皇制というものが、これほど恐ろしいとは今まで思ってもみませんでした。実際普段は、いてもいなくてもどうでもいいような感じ方もできるほど、巧妙に隠された天皇―天皇制のキバがまさに警察権力を使ってむきだしにされたといった感じ。如何に民主主義だ、象徴だという美名におおわれていても、その本性は、アジアの人民を大量に虐殺していった、あの時と全く変わっていないのだということとを改めて確信することができた。

(九州・)

## 次々届くウリニュースに：

①はずかしながら、生まれてはじめてのステはり。昼間、電柱や掲示板、ヘイなどを物色して、夜に入り十枚ばかり貼る。十一月一日。貼ろうとすれば、自動車のヘッドライトがまぶしいし、都合悪く、人が通りかかる。

十一月二日は、公衆電話をねらうて行くと、土曜日の七時頃なので、高校生らしい中子供がむらがってダメ。バステイは人がいる。したがって、電柱に五枚、その前、市中のスパー便所に三枚。

三日、ガサの通知を受けた夜。暴力見たら一〇番の立看板に「この顔見たら……」をベタリ。現在、こ

れだけが残っています。

②三日午後。頭の中がしーんとなる。恐いより、やっぱり……という思いと、どこでくいとめるかを一所けん命考えているつもり。ステッカーを受取った時、この行動は自主的にとという言葉があったのが、一つの警告として、心の中に残っていた事がわかり落着く。

③次々に届くウリニュースや通信で、すっかり安心。落着き、闘志わく。今度はうまくやるぞ、ウリのみんなの行動、言葉を、自分のものと感じ、共々、進もうと決心をかためる。

(東京・M)



## 指紋にも注意して

⊗ステッカーは、東京駅のトイレお茶の水駅のトイレ、新橋駅に貼りました。この時はまだガサがあったことを知らなかった。でも絶対に人に見られないように、細心の注意を払い、指紋も残らないようにしました。おかげであんまり人目のつく所に貼れなかった。

(東京・T)

## 軽犯と爆弾

①自分自身の中では、全く同じでしたが、それを見る人間の反応を想像すると、おそらく他のものとは異なった反応を示めずに違いはないということ、どちらかと言えば「タブー

を破るような、やや緊張した気分が  
しました。

② 最初、驚ろいた。権力の横暴に  
恐れおののいた。中頃・こちらがお  
となしくしていればとことんやられ  
そうな気がして、やるならこっちも  
とことんまで覚悟を決めてやるか、  
何もしいかしかないんじゃないか  
という気がした。いま・でも結局は  
ビクビクコソコソしては相手の思う  
つぼだし、今回のことは今回のこと  
として抗議なりするにしても、ぼく  
らの運動の基本的な進め方なり気の  
持ち方（もちろん人それぞれ違うわ  
けですが）は、急には変えようがな  
いように思った。

③ 特にこのことで、何かをしたと  
か、する予定だったことをやめたと  
かいうことはありませんでした。

④ 軽犯と爆弾のことを考えていま  
す。たとえば、これがステッカーで  
はなく爆弾であったならどうだった  
ろう？問題は法的にどうのこうのと  
いうことではなく、運動と大衆がど  
れだけ結びついているかということ  
で、(天)ステッカーにしても、黒いビ  
ーナツ、ステッカーにしても、感覚  
的に多くの人々から支持されたり、  
好意的に注目されている点が重要な  
のだと思います。だからそれをやる  
人は堂々としている点が重要なのだ  
と思います。このことと爆弾は単純  
に比較できるものではありませんが  
ぼくに限っていえば、堂々と爆弾を  
つくることなどとてもできないし、  
(たとえ警察が許しても)堂々でき

ないようなことは（少なくとも今は）、  
やらないということです。もちろん

堂々とやるということは、敵に我が  
身をさらけ出して敵の許すことだけ  
をやるといったこととは違います。

判断の基準は敵のもくろみや「法」  
ではなく、あくまで自分自身の良心  
であって、相手の主観に合わせる必  
要はないと思うことです。……とい  
ったようなことを考えています。

(千葉・〇)

やってきやがったな・と

ガサをくったとき、やってきやが  
ったなと思った。こちらも地元のス  
ツがやってくるかと思っただが来な  
かった。嵐の中の大阪の仲間たちの上  
を思った。

新聞の本版（全国面）を注意して  
みていたが、どの新聞にも出ていな

い。当地の地元紙にも何も出ていなかった。掲載を禁止しているんだなと、元新聞記者の私には察しはついで。敵があわてているさまがわかる。

—K

### W/R I が近くなつた

大学内のトイレに貼りました。がその日のうちに学校当局？民青？あるいは、一般学生？によつてはがされたりしい。トイレという密室では、公開の場よりも、より注目を引くと同時に、その反応としてハがすという逆効果的行為をも導きやすいということを考えなかつた軽卒さを反省しています。

十一月九日付の朝日新聞を見て、自分の行なつたことに改めて痛快？

さ、恐怖心？を抱き、また W R I の存在意識が自分により明確になつたような気がします。

ちよつぱりアナキズムに関心があるだけで、三無主義、シラケ時代の若い人たちと何のかわりもない私が初めての、本当に最初の反権力的行為がこれほどまで意欲を内包していったものだったとは……。

(大阪・O)

### その晩の夢

①まず、今まで知らなかつた多くの人達と行動を通じて友人になれたということ。ウリの代表みたいな顔をしたため、それまで他人のあとについてやっていたぼくが、自分でやりだすようになったこと、が収穫。

②ステ張りに関して、みつかつても、軽犯罪で、始末書をかけば、すぐ許してくれるよ、と聞いていたので、以前のとぎとくらべても、さほど気にしませんでした。ただし、はつたものが、すぐにはがされるのは気になりました。

③家宅捜査には、相当にオドロキました。やっぱり、こわかつたときみて、その晩には、「天皇制」と K が、僕の部屋をおそう夢や、「反戦自衛官」が、戦闘機をかつぱらって武道館に突撃するユメだとか、変なものをたくさんみました。

④万一にそなえ、手紙、友人の名簿、手帳などをひとまとめ、ふくろにつめて、動かせるようにしました。残っていたステッカーは、すべて処分。つまり、使いきつてしまいまし

た。

⑤海外でたというところで、「インター」であることが確認できました。たしかに。

「不敬罪」が決して死んでいなかった、ということが、明らかにになったのは、(それ自体が意味のあることではありませんが。)大きい意味があることにすることができると思っています。

( F )

それ程ご利益があるなんて!!

ステッカーを受けとった時、次ぎ次ぎにアイデアを生み出していく活動を、すごいなと思ったのですが、あのステッカーが、それ程「天皇制」を刺激する御利益があるなんて思いませんでした。ステッカー貼って

ガサられるなんて変ですね。

(東京・N)

表現力が弱いと思った

すでに、僕はステッカーを三組残し、すべて配布した後でした。ガサ入れを知った時、僕は「笑い」が起きてきました。それをどの様に説明したらよいかわかりませんが、とにかく面白かったです。

あのステッカーを見て、僕は表現力が弱いと思った。出来るならもっと強烈なのを作ってほしいと思ったのだが。

次々に届く通信を見て、私自身すくなくからず内なる天皇制を感じました。しかし、雑誌等を読むとこの程度の事はどこでも書かれているが、

実際に行動を起こすという事は、これほどまでに取り扱われるものかです。すこし勉強になりました。

(神奈川・H)

やっと気付いた

自分の中に天皇制がある、ということにやっと気づいたのです。今度の「天皇在位五十年記念日」に対して最初は天皇なんていない方がよいと漠然と思っていた。しかしはつきりした否定する論理がまだないというところが、ステッカーの事もどうしようと思いつながら、ズルズルと結局は記念日近くまですこしてしまったそこへステッカーが来たので、とにかく貼ってみようということにした。そのことは、通信の中にも指摘さ

れているような恐れ、こだわりのような、つまり「犯罪者、逃亡者の心理」を自分にまた感じさせた。つまり最初「天皇制なんて」と思っていたことは裏ハラに、自分の中に天皇制があることを気づくことになつた。

—M

### ほんならこっちも

① なにか「武者ぶるい」といったような感じ。目立ちたいし（今行動してゐるんだぞ！と）目立つと具合悪いし。興奮します。いつも。

② 最初、信じられない感じ。大げさな—と。

③ そして、やっぱり「二十人もの男が云々」が事実で、ほんならこっちも負けんようにせな、という感じ

—それで、僕は残っていたステッカーを、その夜のうちに電話ボックスに貼りに行った。こっちにもきやがれ—と。いまは、あのステッカーを記念においておけばよかったと思つている。

④ ぼくはおっちよこちよいであるなあと思っている。適切な行動がそのつどとれるかどうか、今度のこと何かやりたかった。はねのけたかったのでやってみた。そういう軽卒さが生存できない世の中なのでおもしろくない。

—M—

### いなおりだけ

① 久しぶりに緊張感があった。

② 持っても関係ないと思つてる

今は、その時緊張感をもったのか、

不思議だと思つてる。

③ 友だちにもわけてやった。自身は、アパートローラーでバレると思うので、いなおりだけである

(東京・N)

### あつという間に

明治節には御苦労様でした。(天は一時あちこちで見ましたが、あつというまに消えうせてしまいました。電話機や電車の中にまであったのですよ。

(大阪・M)

### おそろしい事です

恐ろしい事です。ニュース見た時は全くびっくりこんでした。オイラは全くの個人でグループにも参加し

ていない。現在やっとバイト見つけたのにオイラなんかビクツイてしま

います。別に法をおかしている訳でもないのにビクツクなんて全くおかしな話。物価の値上げでビクツキ、こんな事でびくついて生活するなんて。

(東京・U)

### 菊の散らせ方を

当地では警察の表立った動きは見られません。が、コワイコワイ。

一連の出来事を聞くと、本当にいやが応でも天皇、天皇制と顔をつき合わさざるを得ないといった感じ。

警戒心は怠ってはいけないけれどもあまり神経質にならず、チャンスにめぐりあったつもりで、菊の姿、そして散らせ方をじんわりと考えてい

(山口・M)

### 下宿の前に停っている車

⊙のステッカーは、⊙⊙では「⊙⊙八幡」の境内、⊙大構内、バス停等々に貼りましたが、特にそれに対してどうこうという事はありませんでした。十一月六・七日の夜に、私の下宿の前にそれらしい車が、ずっと停っていました。(Y)

### 非暴力のもつ攻撃力

それにしてもWRI大阪はじめ、その反撃ぶりの見事さにくたれていきます。たてつづけにいただいた3号の通信とWRIニューズレター迫力があります。非暴力のもつすさまじい

攻撃力をあの小さいステがもの見ごとに表わした時は感動の一瞬でありました。表で通りのステは、十一月十日まで、ことごとくケズラれました。犯人はのばかりではないはずです。

(東京・H)

### 今日も村は

### 何の変りもなく

今日は十一月十日。村は何んの変りもなく過ぎました。在位五十年式典の日が今日であることを誰も知らないようです。ただ村の漁協が三時から休むことを有線で放送すると、なんで休みやネ、とそれぐらいの反応でした。それに私の家のテレビは故障で見ることが出来ず、どうなっているのの思いです。そんな村にいると天皇も飯守重任が勲二等をもら

ったことも何も関係ないではないかと思われてきたりします。その反面天皇の命令とか国のため、というと単純に動きだす、そんなものがひそんでいるような恐しい気がします。ガサ入れ大変だったと思います。

(・H)

### ピンと感じるように

なりたい

①初めて「一一〇番」のヤツを○  
○駅前の緑色の掲示板にはったときは、あたりを見まわしてドキドキだった(深夜)。あとは駅やあたりのビルのトイレが多くてゆうゆうと貼れた。

②三日の昼頃、ピラまきというので行ってガサを聞いた。その前夜おそく帰って毎日の夕刊をみた。最初

のこの件に関する記事だった。それをみせたところ「これ、もっと早く誰かに知らせたら、けさのようなことふせげたかも」といわれた。とても恥ずかしい気分になって皆にあやまりたい衝動にかられた。少し冷静になってから自分自身のうかつさ、おろかさは仲間にはなる資格がないんじゃないだろうかと考えた。もっともつと多くの仲間のことを感

知られたらとは思ってはみたものの何かこう現実でありえないと思えるばかりで周囲のキンバクしたふんい気の中で一人ポケーツとしていたようなところがある。「天皇制が身近に見えた」といわれても、もうひとつピンとこないのはどうしてだろう。③残っていたステッカーを、あとは全て十一月十日までじゅくりと貼った。だからといって、ステッカーを全部燃してしまった人のこと笑うなんてできない。その人は、多分私よりも数十倍天皇制を身近に感じたのだろうから、スゴイと思う。

たい。その後も見張られているとか私服がついてまわるといったことも私にはどうも「怖い」という感じがなかった。ひよっとして私のアパートにも留守中におまわりがきて、勝手に部屋に入ったりしたら、とか、冢に

④いま思うこと。当面このステッカー事件に關しての運動で金がまず要るから、私のできることをして金の援助を申します。会社づとめをしていて、それによって得られるも

のを運動に使いたいと思います。

それにしても今度の事件はとでもおもしろかった—というのが正直な感想。

ふだん何気なく生活していたら決して知ることができなかったであろう、いろんなことを知ったし学べたし…ステッカーを貼ること自体わりとゆかいだし、今後こういったものを作ったらどんどん貼るつもり。日本中そして世界各国で一せいの大衆運動なんて考えただけで胸がわくわくしてくる。それから実際に家宅捜査が行なわれた時の対処なんか、その時になってみたらわからないけど頭にたたきこんでおこう。

この事件がおきてから、通信が3号WR I ニュースレターが3号やつぎばやに届いている。これはスゴイ

と思う。

「わたしの内なる天皇制」についても、もっともっと見栄なんかをはぎとってみつめたい。いろんな意味で今度の(天)ステッカー事件は大きな私の体験でした。

### まっぴる間一人て

(天) 目抜き通りにすべてはりました。キイナ眼でみる者、ホウノといつてやれノやれノと元気をあたえるもの。真ビル間一人ではりました。あとで電々公社がどポリが公共物云々と泣きごたくをならべましたが…なにいつてやがんだと一カツしたらイヌころみたいにタイサンしてしまいました。

— S

- ①電柱、町の掲示板、電話ボックス等に貼附。過去、前歴1回。それが果して何んのステッカーだか記憶になし。勇氣、みみずの勇氣で足る。
- ②驚愕、危険(最初)。平安、嫉妬(中間)。遇然の幸福(いま)。
- ③手淫—私に罪はない。

(東京・E)

### 警察もご苦労はん

- ①(天)はハレモノ。或いは、日常生活にまで影響を及ぼさないもの、としてとらえられがちだった、一種のタブー。日本人の盲点であると思う。反戦ステッカーは尻尾のある相手、(天)は自分に尻尾がついているといった感じ。
- ②やはりと思ったが、段々、警察も御苦労はんと思った。

③(天)ステッカーは、その時点で、ほとんど貼り終っていたので、処分云々は考えなかった。

④警察の対(天)の体質に通じるものが、まだ日本人の中に無意識のままにあると思う。人間天皇しか知らない私の世代では、全く無視、関係ないという者も多いと思う。しかし、今度の件で(天)はやはり現人神なのか？を考えざるを得なかった。

東京では、新聞に出たのは、海外の(天)ステッカーに限られており、やはりひざ元の感がある。

(東京・N)

### 実に異様な

なんせ貼るそばからはがされてしまうのです。八・九日の夜など、夜

を征圧するケイサツで、当市でも実に異様なフニキでした。

(北陸・H)

でも、こわい

①非常に気分がよかった。(ピクピクの程度は他の場合と同じ位)

②来年の卒業と就職をひかえて、「恐いことをしてしまった」という気持ちで、友人に送った分がバレ捜査をうけるのではと思ひ、ヤバイと思われ文章を処分した。カゼをひいて体調がくずれたのは、天罰があつたかと思ひ、書店に出した分も集金に行かず。そして今、カゼがおつたので集金にいくつもり。でも恐い。

④「事件」を報ずるピラを全国の

ミニコミ取扱い書店等に送りたい。匿名希望

「はがし屋」の意味

多くの貼ったステッカーはその殆んどが一日もたないうちにはがされてしまっていた。全国各地で貼りまくられたステッカーの大多数が同じような運命にあつたにちがいないことは、多くの数少ない「貼り仲間」の証言によって推察できた。犯罪者がそうするようにひそかに犯行現場に舞いもどつてみてはがされたあとを見ながら考えたことは、いくぶん組織されたばかり「貼り屋」に對して全く組織化されていない「はがし屋」がいるにちがいないということだった。確かに官憲がはがし屋

に変ボウした事実もあるだろうけれども、そうでない巷間のひとびともこれをひっぺがしたにちがいないことは、たとえ、命令によるものだとしても、天皇制の回路が戦前・戦後を通じて現在にいたるまで健在であることを如実に証明するものだったと言える。

そしてぼくたちがみな、かならず「内なる天皇制」とたたかひながら「貼り屋」に転じたのにくらべれば「はがし屋」の方は「共産主義」や「無政府主義」とたたかう心の構えも必要とせず、半ば機械的にはがしまくったにちがいないのである。

ぼくたちの貼った<sup>(天)</sup>ステッカーは署名なしの、文字どおりの匿名ステッカーであった。それはぼくたちが無名の大衆であることに対応してい

る。もし、このステッカーに署名があったとしたら、ぼくたちが自衛隊や右翼のステッカーをはがすときに感じる敵の目と同じような目をはがす人は感じたかもしれない。その意味で「はがし屋」はどんな緊張感も必要としなかったにちがいないのだ。

一方、ぼくたち「貼り屋」は貼る責任を転嫁できる何ものも持たないことにおいて、貼ること自体に闘いの意味を与え、緊張感を自分のものにするのができたのだと考えることができる。十一月の同じ時期に貼り出された新左翼諸党派の天皇制粉碎のステッカーとの決定的な違いがここにある。

「はがし屋」の正体が官憲であろうと掃除婦のおばさんであろうと、右翼のチンピラであろうと、はがす

行為には大義名分がある。あるものは「職務」として、あるものは軽犯罪を除去する順法性として、責任を転嫁すべき裏づけがあるのだ。好むと好まざるとにかかわらず權威に対する順応性、権力意識の先取り、自己規制、これこそ天皇制の回路の特性である。

ぼくたちは天皇制の国家権力性をひきだしたという以上に、大衆の中にひそむ天皇制を支える民間の回路をひきだした、というべきである。天皇制が不敬罪なき不敬罪を温存させているということは今回のガサ

島英三郎さん、富村順一さんらが身をもって証明したことである。国家権力が異常なまでに天皇制に反対する表現行為に敏感である理由をさぐ

り出し、これを撃つことの重要性は天皇制を象徴する天皇や国家権力のありかたを直接標的にすることよりもはるかに大きいのではないかとぼくは思う。天皇が天皇制を支えているのではなく、天皇制が天皇を支えている側面を注目すれば、天皇制を支える民間の回路を確実に分断する運動の出現は幻想性に支えられたこの天皇制の存続を直接おびやかす存在にたらざるをえない。

このような認識は日本社会に固有の伝統的な社会関係のあり方をうちこわし、あたらしい社会関係を土着させていく日常的な意識的な作業に対応するように思われる。

天皇制を批判する運動には、天皇制のあり方が国家機構に直接対応しない、いわば高度に観念的な性格を

特徴としていたために、直接的な批判の活動はスケジュール闘争かもしくは一揆的なものとしてしか表現できないう限界がつきまといっている。特に大衆行動についてはそうである。だからこそいっそう一見天皇制とは無関係にみえるかくれた天皇制と闘う日常性が重要なのだとぼくは思う。

※ ※ ※

①ちがってました。貼ることそれ自体が目的であり、手段であると思われしました。

②そういうことは早く知らせてくれないと困るなあと思いました。それと同時に、かなり気軽にやっていた自分を反省しました。

③持っていた残りのステッカーの一部を、これがうわさのステッカー

だよ、とわけ知り顔に友だちにあげた。

④組織的、効果的にできなかったことを反省します。それとともに今回の企画と組織化を精力的におすすめた仲間にご敬服します。

(東京・I)

こんどは

ぼくのほうから：

いっぴくなく興奮しました。はじめて⑤がすぐ近くまでやってきたという実感がもてたので、こんどはぼくの方からも、もう一步彼に近づいて真正面から面を見てやろう……などと発奮しております。(大阪・A)



## やすくに神社に

東京の方は、靖国神社というものがあって、その周辺に(大)ステッカーが貼ってあったそうです。

(東京・T)

## 天皇制たる

### ゆえんかなあ

①貼る行為そのことは、他のステッカーと同じ気分だったが、個人＝天皇という相手があることで、少し内容がちがった。

②これこそ天皇制たるゆえんかなあ、といった感じ。今までステハリなんて……と思っていたのが、一度に一八〇度くらいひっくりかえるくらいの恐しさを感じた。持っている

だけで、ガサ入れされるとか、逮捕させるとか思わせるぐらい、僕たちは浸されていると思う。内からも外からも。

③このシカエシを、どうやってやるうかと方法を考えている。

(大阪・S)

### 参加できて欣快

おかげさまで、小生も参加できて欣快。非常に勉強になりました。

初回がつくづくむずかしいものだと、いろいろ自覚することが多かった。小生の一週間の出歩く範囲が意外にひろいことがわかったりして。

(東京・O)

## うれしそうな気配を

こちらは、十一月一日～五日までの間に、三、四回にわたって、市の中心部にはりました。貼ったあと、すぐはがされ、また貼るというようなことになりました。何事もおこらず、ガッカリするやら、何となく申し訳がないみたいなの、ヘンな気持ちです。

「通信」を読んで、みなさんのことうようした気分が感じられます。それに何となく、うれしそうな気配も感じられて愉快です。

東京では、婦民クラブが、「女・天皇制」集会に四百名動員して、熱気のある討論后、デモをしたそうです。

杉山元（元帥）の日記に、戦争指導の先頭をきる天皇について言及しているそうです。アイツは罪ということのわからない人物です。

個人の尊厳を考えるとき、階級制の頂点に「貴種」血統制を千数百年にもわたって存続させているこの社会の全否定こそ、すべての出発点であることを痛感します。

（北陸・I）

### ヒロヒトさんの人権を

いままで漠然としていた天皇制の実態―それが権力と確実に結びつき、力で庶民を抑え込む政治手段としてあること―がはっきり浮彫りにされてきましたね。「国民に親しまれる」などということが、天皇利用者た

ちの作った戦術用語であることは判っている、ステッカーを貼った位の、他にいくらかも見逃してきた行為を、ガサ入れまでして抑え込むとは、まさに正体が暴露された感じがします。

うちの近くに〇〇さんの邸がありますが、この辺も昼夜「何ごとか」と思わせるような警察官の動員を一周間余りやっていました。ますます天皇制の威圧と無駄づかいとに腹がたちます。

僕はこれからの天皇制との対ジの仕方としては、天皇という身分とヒロヒト氏とを切り離して考え、ヒロヒトさんの人権（人間宣言をし、過去の罪を悔いている一人の人間なのに本心が言えなくされている、被害者としての彼の人権）を尊重すると

いう形で、切り崩していく運動を進めていきたいと思っています。

これによって、まだまだ日本の社会に残存している保守的な心情を、敵対者が攻撃しにくくなる形で说得していくことになるのではないのでしょうか。今回作ったモノも注意をひく点では良い作だと思えますが（とくに川柳とか、内なる天皇制など気に入りました）、これから、今僕がのべた観点も取り入れたら？などと思えます。

（東京・I）

### 心から祝意を

この度は畏れおおくも今上天皇御在位五十年に当る。副当りの貴様等はワイワイ・ガヤガヤ・ガチャガチャ・ベタバタと反対の為にステッカー

―等貼り歩く。

ていたとか、愉快です。

さえいれば、いつでも誰かが助けてくれると思つたら大きな間違いだ」と言うのです。

何ということをするか非国民共奴。

市内を見ましたが、貼つてあつたステッカーが、もう2・3日ではが

今度の一件は、ふだん家宅捜査や二泊三日とは縁のない生活をしてい

しかるに幸なるかな日本官憲未だ老

いず、WR Iの本拠に手入れをする。されていたようでした。そのかわり

中核派の大きなピラが電話ボックス

その快挙に対して私は心から祝意

を表し金一万円也送っちゃいます。

たばくに、改めて天皇制や権力の底

を

などベタリ貼りつけてありました。

力を認識させました。

(東京・N)

(東京・O)

(兵庫・O)

### なかなかやるな

### 改めて 天皇制の底力を

### 授業中に

十一月八日「朝日新聞」を見てい

ましたら、「ハワイで反対ピラ」と

見事敵の先制攻撃にひっかかってし

ゆう小さな記事がのつていました。

まいりましたが、これからぼちぼちと

貼つていくつもりです。Aくんの事

「黒ワクでかこんだ菊の紋章」とゆ

うことから、八枚組のものではない

で、色々考えております。釈放され

かと思ひました。なかなかやるなと

た日に弁護士在所へ行つたのですが、

に出されました。何となく気まずい

思ひました。私は聞かなかつたので

あつけなく断わられてしまいました。

沈黙のうち、もう一人反対意見をの

すが、ホンコンで貼られていたこと

いなく「彼は運動をビクニックと間

あつたり「休日にはせず」に決りま

がNHKのラジオニュースでもいっ

違えてゐる。運動に首をつっこんで

あつたり「休日にはせず」に決りま

した。いまではもう、天皇に反対する意見を堂々とのべるフンイキもなくなっている、ということに気づいたものです。

十日の授業中には、天皇制をどう思うか、について意見をきいてみることにしました。「あってもなくてもよい」「税金のムダ使いだ」という二派が大半で、象徴としてあってもよい、というのは、ごく少数でした。しかし、この「あってもなくてもよい」というのがクセもので、百害あって一利なし、の存在であることを理解しないかぎり、天皇制は続くだろうと思いました。天皇はあってもなくてもよい、日々のくらしに關係ない、かどうかについては、向井さんたちの例を材料として話してみました。

それにしても不可解なのは、天皇の名によって出征し、または、息子を死なせた年代の人たちは、どうしてこうおめでたいのだろう。その人たちが、いちばん大声で祝典反対を叫んだらいいのに「おめでたいことです」とは、なにごとだろうと、少々いらいらもさせられた十日のTVニュースでした。(大阪・M)

### 裸の王さま

十一月二日、天皇制ティーチ・インが終ってから、喫茶店へみんなといった。「反天皇制」の気持ちを高ぶらせながら、「じゃあ、女にかかわる部分から天皇制を問題にしつつけてゆく話合いグループをつくらう」ということになった。その後Fさん

が、「天皇制からさせて、監獄の問題をみていきたい。そこでは天皇制が露骨な姿をむき出しにしているから」といった。

そして、「現代日本の監獄」を読んだ。そこでは天皇制が「裸の王様」然と仁王立ちに立っていた。心底恐ろしく、ゾツとした。そこではもし「裸だ」と真実を云おうものなら、奈落の底までもたたき落とすことをもものともしない、看守のかけくなく制裁が横行していた。

では一方、我々の住むシャバの日常ではどうだ、天皇「王」の裸をはやしたりしても、けなしたりしても一応は普通のことだし、お話しぐらいである限り、どうということもない。つまりは、陰險で、残酷で醜くいはずの天皇制は、まるで雲かかす

みにまぎれておぼろげである。さっぱり見えてこない。本当に見えてくるのだろうかという疑問を持つようになった。ことに、愛情だとか、個人の特性だとかが強くからんでくる男と女の関係、様々の人間関係の中に天皇制を窺っていくのは、至難のワザではないか。

ところがである。お話し程度では問題はないようだが、一たん、ちょっとでもこちらの体を動かして、天皇「王」にふれたり、つついたりすると、さあ、大変、その側近達ごとんで出てくる。

それがはっきりと現実化したのは十一月三日の朝からだ。何しろこういうことは始めてだったので、ずい分動転した。子供を一週間もフコに入れなかった。それもこれも、

天皇の「恩」が六ヶ月の子に下ったのか。ヤツラの問ぬけでこっけいな尾行ぶりを笑いとばし、毎朝九時にかかる氏名不詳の沈黙電話を目覚めし時計がわりに利用していても、気はしだいに重くなるばかりだった。

なんでこれくらいのことと、動揺したのか。私の内なる天皇制。私に關しては、ヤツラの意図は、充分功を奏したようだ。ヤツラがまわりをウロつくだけで、規制作用！天皇制の功妙陰險な機能が作動しはじめたのである。この規制作用というのは

—ヤツラの出現をおそれることで、自分のやったことをうしろめたくおもわせる、自己規制によって完全となるわけだ。もともと私は、自分が悪いことをしたとも、もつと気をつけよう、などとも思っていない。

ところがだ。「あれが一体なんて

悪いんや」と、ヤツラのやり口に抗議し、さらに攻撃へと打って出るといふところまでは、どうも進んではいけないのだ。それが、つまりは、しらずしらずに権力者の意を汲んで規制作用の発動をゆるしている、という結果をつくりだしている。それが「内なる天皇制」とも云うべきもので、今の私には、ようやくそのことが鮮明になったというところだ。

(大阪・T)

### あの世から父親が

母も昔を思い出して大ファンガイ、ほとんどの人々の心の中は私達と同じだと思えます。日常茶はんじに口に出して皆、あの川柳位のことば云

つてますよ。当り前ですよ。

元氣を出して正しいと思うことはやっして下さい。あの世からも父達が応援してありますよ。ガンバッテ下さい。

コーのやつが来たとのこと、いまだきそんなひどい事をするとは、本当ににくらしいです。大正のはじめ頃のようにですね。

私たちの頃も、たびたびひどい目にあいました。私たちは、何も悪い事などしていません。人のため国のために自分の欲をすてながらはたらいている者を、なぜ、ひどい目にあわすのか残念でなりません。イヌコ一などにおそれず元氣をだして闘って下さい。

(静岡・A・M)

※ ※ ※  
大阪にお帰りになってから、イヌ事などしていません。人のため国の

### 委託販売の助っ人を!!

△直接行動▽は、ほとんど手渡しと郵送しかなく、WR I事務所と直接関係ある方以外には、届ける方法がありません。そこでお願い！ あなたの周辺の本屋さんその他で、店頭にならべて売ってくれるところをつくって下さいませんか。

委託は三部から十部以内。売価を五百円とし三割引きで納入、清算は次号発行時(約三ヶ月後)までという条件。その「取次ぎ納本、清算」までの世話を各地でして下さい。助っ人を求めます。事務所(水田)まで連絡をお願いします。